

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和4年度 第11回理事会 議事録

開催日時：令和5年2月8日（水）19：00～20：40

場所：沖臨技事務所（Web 併用）

（参加者）手登根稔会長、山城篤副会長、山内恵副会長、宮城和文理事、與那嶺淳理事、登川雅子理事、国仲伸男理事、立津千絵理事、我如古靖理事、喜納はるみ理事

（Web 参加者）八幡照幸離島担当理事、田盛仁事務局長、喜舎場良香理事、原国督理事、牧志輝理事、金城正樹理事、玉城正幸理事、仲宗根雅司理事、花木美香理事

（欠席者）宮里泰山副会長

（書記）原国督理事

<議題>

1. 沖臨技より

1) 令和4年度（第38回）沖縄県医師会精度管理調査報告会について

・開催日：2月26日（日）沖縄県医師会館3Fホール 12：00～18：00

現地開催でライブ配信は行わずに、後日オンデマンド配信予定である。

新型コロナウイルス感染症による会場参加人数規制が緩和されたため、当初の参加予定人数（精度管理関係者のみ）より多く参加（各施設から一人）出来る可能性もあり。医師会へ確認要する。

・教育講演「IS015189を活かした教育と課題」

講師：九州大学病院 検査部 副技師長 清祐 麻紀子 先生

午前に来沖され、報告会後に情報交換会（食事会）を行う予定である。参加できる理事は申し出てください。

2) 「第5回タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」について

・日時：令和5年2月19日（日）9：30～17：30（受付9：00～）

・場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター（301+302、109、110、103+104）

・2月8日現在：申込者数58名（残り2名、入金者52名、未入金者6名）、申し込み（入金含む）締め切り9日（木）。座学履修済者25名、受講中118名

・第6回：4月29日（土）、第7回：7月16日（日）、第8回：5年9月23日（土）予定。

第6回からは、3連休の中日に設定。

・4月から県マタギの受講が可能となる（各開催県で範囲指定が可能）。3連休に合わせて県外からの参加者が増える事を期待したい。

3) ひまわり奨学金の規定変更について

・今年度応募者はゼロであった。規定第4条に記された「生計維持者の前年の総所得金額が400万円未満であること」、この条件が厳し過ぎたため応募者が無かったと推測された。よって、次年度は400万円→600万円に改訂したいとの提案があり承認された。

4) 沖縄県医師会より抗原検査センターへの派遣依頼

・1月8日（日）から2月12日（日）までの日祝日7日間（3時間/日）、抗原定性検査（コロナ+インフル）の担い手として延べ14名の理事を派遣。

手登根会長より：判定ラインが非常に薄い場合は、これまで丸で囲みレ点を期していたが、分かりにくい

ため+ W と表示し、W を追加記入して運用することに変更した。15分進めたデジタル時計を準備し、その時間を判定時間に用いると検査がスムーズに行える。

・先月の理事会で話が出ていた、県から AVSS への PCR 検査センター設置依頼の件（人材派遣依頼）は、その後 AVSS からの連絡がなく、恐らく新型コロナウイルス新規陽性者の減少に伴い保留となっていると推測される。また、依頼があれば理事へ協力要請を行う。

2. 九州支部

1) 令和4年度第3回九州支部内連絡会議・支部幹事会報告

・日時：令和5年2月1日（水）18：00～Web会議。

・以前の理事会で報告した九州支部が九州各県会員から30円徴収しその使用用途は、事務局の手当・支部長の交通費・会場費などに充てられている。各支部活動等についての各県からの要望をまとめて日臨技へ倉重支部長から報告予定。最も多かった要望は日臨技から助成金をもっと増やしていただきたいとのことであった。当県は九州学会時に参加申込（口座引き落とし含む）が日臨技システムを利用できず苦労したことから、日臨技システムを利用できるようにして欲しいと要望を出したが、既に利用可能とのこと（福岡はそれを利用したとのこと）。

・次回の九州支部連絡会議は7月8日（土）現地開催（八仙閣にて）予定。

3. 日臨技より

1) 第6回理事会報告

・令和5年1月21日（土）8：30～11：30：ステーションコンファレンス東京にて（Web参加含む）開催された。日臨技理事会の報告書は、今回から各施設への定期便（3月）に入れることとする（情報共有）。

・臨地実習指導者講習会：これまで実習受け入れ施設の一施設当り一人のみ受講可能だったが、1月17日より、一施設から複数名受講可能となった。ただし二人目からは受講料3000円となる。

・タスク・シフト講習会：4月以降受講制限緩和により県またぎの受講が可能となる（その範囲は担当県が指定可能）。

2) 故佐藤乙一先生偲ぶ会案内

・令和5年3月25日（土）受付13：30～、開式14：00～14：45

・会場：ステーションコンファレンス川崎、会費：1,000円

・佐藤乙一先生は、沖臨技の発展に多大なる貢献をなされてきた先生で、沖臨技の歴史に精通しておられ、こよなく沖縄を愛されてきた先生であった。今回の偲ぶ会へは、手登根会長が参加予定である。

3) 令和5年度日臨技生涯教育推進研修会助成金の申請について

・令和4年度までは開催1ヶ月前を過ぎても申請可能であったが、令和5年度からは申請自体が行えなくなり申請条件が厳しくなる。1研修につき助成金5万円が支給されるが、昨年度の沖臨技の研修実績は少なかった（4～5件）。多い県は丸々20研修会（100万円）申請されており、沖臨技も次年度はWEB研修などを増やして可能な限り助成金を活用して欲しい。

4) 医療技術部門管理資格認定制度の受講について

・検査部門の管理者に留まらず病院の経営管理も担える人材育成を目的に、令和元年に創設された「医療技術部門管理資格認定制度」であるが、会員へ認定制度の周知と申し込みに必要な書類の提出期限の案内があった。申し込みに必要な書類の提出期限：3月31日（金）必着。さらに「医療技術部門管理資格認定」を習得した後、千葉科学大学大学院修士課程へ日臨技が推薦することで、履修単位、授業料等の減免措置を受けられ、大学院の修士課程を修了した方は、本制度の上位の資格「医療管理者資格」制度の認定試験を受験、合格することで「医療管理資格認定証」が授与される。

4. 沖縄県臨床検査技師連盟より

- ・令和5年日本臨床検査技師連盟執行委員会の開催

日時：令和5年3月26日 午前9時から午後1時

場所：ステーションコンファレンス川崎

・瀬戸支部長参加予定である。瀬戸支部長から、臨床検査技師の社会的地位、現状をどのようにとらえているのか意見の聴取あり（九州各県支部へも投げかけ）。特に、毎年厚労省から依頼される三師届け・業務従事者届の中には、歯科衛生士や歯科技工士の届け出義務があるが、臨床検査技師・放射線技師・栄養士等は表記がない。そのため、技師連盟からも追加表記の要望を出していきたいとのこと。この件に関しては、既に日臨技からも厚労省へ要望が提出されている。

・瀬戸支部長からは、臨床検査技師の認知度・地位向上のために連盟活動が如何に必要か、改めて強く語られた。

5. 会計報告

- ・1月分の報告があったが、特記事項無し。

6. その他

・第58回沖縄県医学検査学会(2023年度7月)について：大会長：宮里副会長、実行委員長：山内副会長、事務局長：田盛事務局長で、開催形式は現地開催で決定した。オンデマンド配信すると当日参加者が減ることが予想されるため、今回はオンデマンド配信は行わないことになった。ランチョンセミナー、企業広告募集を今月末までには募集開始を行う（田盛事務局長が雛型あり）。今月末頃に学術会議を開き、学会運用を決定する。

- ・令和3年度第38回沖縄県医師会精度管理調査報告会の参加証明書の発行は、沖臨技事務所でも可能であるため、参加証明書が必要な施設は申し出ていただきたい。

・第5回タスク・シフト講習会の実務委員の変更：瀬戸支部長が都合により参加できないため、原國理事へ変更。受付は宮城理事に引き受けていただいた。

次回、令和4年度第12回理事会：令和5年3月8日（水）19：00～ 現地+Web開催の予定

令和5年2月8日

文責：原國 督